

石井としひろの「館山市政かわら版」

(平成30年11月1日発行)

敏 宏

館山市議会議員

厳しい財政とこれからの戦略



1、今後の政治スケジュール

私も議員に当選してから7年半が経過し、残りの任期は半年となりました。今後の選挙スケジュールですが、11月18日(日)は館山市長選挙、来年の4月上旬に県議選、そして4月下旬に私も改選となる市議選が行われる見込みです。

2、館山市の福祉は向上したが、財政は…

①子どもへの支援拡大

8年近く前のチラシに、私が議員になって取り組みたいことのなかで「子どもへの医療費助成を中学3年までに拡大」ということを書いたのですが、実施は難しいと思っていました。でも、これは実現しています。

また、スクールバスを含めた遠距離通学には自己負担があったのですが、それもなくなり無料化も実現。

小学校の学童保育も、父母の会などで運営していたところが多かったのですが、公設化により館山市が運営主体となったことで、保護者の方々の負担も軽くなりました。

②国民健康保険税が減額

高齢化により医療費は自然に増えていくので、国民健康保険税は通常だと自然に増えてしまうものです。しかし、館山市では税の徴収率が向上したことにより、少しですが減税することができました。これも「国民健康保険税の減税」と8年近く前のチラシに書いたのですが、当時は実現は難しいと思っていたことです。

③今後は幼稚園・小中学校へのエアコン設置へ

数年前まで私は、中学校教室に扇風機がない状況の改善を求めています。現在では扇風機は設置されていますが、もはや猛暑へ対応しきれなくなり、エアコン設置の方針が決まりました。これは必要なことですから、当然やるしかありません。

しかし、当初の設置費用は約5億5千万円、光熱費等の維持・管理も年間に約4千万円かかることが想定され、館山市の財政は一層苦しくなります。

3、財政の悪化は続くが、今後の戦略は？

①財政は回復から悪化へ。今後もさらに悪化

平成20年度にどん底に落ち、財政危機になった館山市ですが、その後は平成24年度までは持ち直しました。ところが、平成25年度からまた悪化が続いています。

悪化している主な理由は高齢化などによる福祉費用の増大ですが、船形バイパスなどの費用対効果が悪い大型

公共事業が散見されたこともあります。

平成29年度決算も悪いのですが、一見すれば危機的な数値ではありません。むしろ一時的には回復しています。ただ、それは老朽化した施設の建替えという大型事業を先送りせざるをえなくなった事情により、大きな支出が先送りされたためです。

②財政危機。4年以内に予定される巨額の支出

(1) 給食センター建設費は約14億円

当初の見積もりでは約23億円だったのですが、なんとか14億円近くまで削りました。しかし、費用削減のため、2献立が作れる当初計画を1献立しか作れないものに変更せざるを得ませんでした。1献立にすると食材も大量供給できる業者から仕入れざるを得ず、地元産品を使う地産地消は後退するでしょうが、やむを得ません。

(2) ごみ処理施設の大規模改修に約32億円

これは新設した方が安く上がる可能性があるのですが、適正な規模と適正な費用という観点から検証していきます。

(3) 三中の建替えに約30億円

国からの十分な補助金が確保できずに先送りになっているものです。

この3事業は国からの補助金もありますが、おそらく半分は出ないでしょう。また、4年以内に全て払うわけではなく、借金によって先送りもしますが、莫大な負担が残ることに変わりはありません。

③朽ちるインフラ。公共施設の統廃合は必須

昨年に公共施設等の総合管理計画が作られました。これから20年間に、し尿処理施設・公民館・小学校・市役所など多くの公共施設が耐用年数を超えていきます。

しかし、市にはもはや全てのインフラを維持するお金はなく、人口減少に合わせて20年間で床面積にすると2割の公共施設を削減しなくてはなりません。

統廃合というのは不人気な政策ですが、これができないと財政が資金ショートで破綻すると思います。各論反対で難航するでしょうが、情報公開と市民との対話を十分にしながら進めていかなければならないキツイ任務です。

④排水整備を放置する無責任な予算編成

また、ドブなどの排水整備も多く市民から要望が出

されていますが、市役所は財政難で対応は甚だ不十分です。ここは優先的に予算を割く必要があると思います。8年前から「大棧橋や船形バイパスという大型工事をやっていて、なぜ生活道路や排水を直すことができないのか」という市民からの至極まっとうな批判があるわけですが、それにまともに答えていないのが現状です。

なお、青柳大賀線という大型道路の建設計画は未だにやる方針になっていますが、財政データを読んでいて実現可能だと思っている人間はいるのでしょうか。平成が終わろうとしているのに、昭和の遺物のようなこの計画が現在も中止になっていないことが不思議です。

⑤ 財政難と人手不足により事業は減らすべき

市職員は自分が関わっている事業については、不要だとか非効率だと指摘されても必ずと言っていいほど肯定します。それは、事業が不要だと言ってしまうと、自らのやる気を保てませんし、また協力してくれている関係者にも悪いと思うからでしょう。自然な感情です。

しかし、同時に自助努力による財政改革には限界があることを意味します。しがらみのない外部の有識者も多く入れて、およそ400ある市の事業の総点検をする必要があると思います。財政難に加えマンパワーの不足という現実を直視すれば、事業数自体の削減も必須です。

⑥ 景気対策を行うと逆に財政は悪化する

景気対策と財政改革は分けて考える必要があります。景気対策を行って財政を良くしようという発想は国政ではありうるのですが、地方財政ではありません。それは税金が増えても、その75%分は国からの地方交付税という補助が減ってしまうからです。要は税金が増加しても、その恩恵には25%しかあずかれないということです。

これではワリが悪く、景気対策に使った税金を回収できず、夕張市ほか様々な市町村が財政を悪化させたパターンにはまります。

人口を減らすセオリーはありまして、それは財政を悪化させ、手数料などの負担は多く福祉などの給付は少ない「高負担・低福祉」のまちにすることです。

逆に言えば人口を増やすコツは、生活コストを下げる「低負担・高福祉」のまちにすることです。

⑦ ふるさと納税フォームは国からの規制で沈黙化

ふるさと納税の返礼品は、国から「費用を3割以下に抑えろ」という規制がかかったので、館山市では約8割の返礼品の見直しを強いられました。ただ、これはこういうことに陥る可能性も織り込み済みのことです。

今後とも、寄付の対象となる事業を磨き上げることと、返礼品の工夫は必要ですが、寄付額は減少することが見込まれます。故にふるさと納税頼みの財政改革や今後の展望は誤りだということです。

⑧ 財政の悪化と予算のあり方は議員の責任大

予算の可決とその執行の結果である決算の認定は、議会が全て賛成してきています。そして、予算は市が策定した基本計画や行財政改革方針などの計画に基づいて行

われています。つまり、財政の悪化という現実に対して、賛成してきた議会の責任は極めて重大だということです。

自分が漫然と賛成してきているのに、後になってから自分の責任には全く触れず、市長や職員を批判する議員も中にはいたわけですが、とても残念なことだと思います。決める時にその場にいたわけですから、その時に具体性と実効性のある意見を言うべき話でしょう。

⑨ 一般市民は政策決定において蚊帳の外

一般市民は議員と違って決める前に、重要な情報をわかりやすく提示されることはあまりありません。つまり、「決める前には知らせない。決まった後にはそれに従ってもらう」というわけで、市民が意見を言う機会はまだまだ少ないのです。

政治家というものは、選挙の時や人前に出た時は、「市民の声を大事に」「市民が主人公」などと言いますが、実際には政策の意思決定において、情報を隠し情報を私物化したがりです。しかし、行政・議会の情報は当然ながら市民のもので

理由は「生煮えの情報を出すと、市民の混乱を招く」というものですが、私が見る限りでは、単なる隠ぺい体質も多くあります。政治家には市民への不信を持つ人がおり、また「市民への信頼」が不足していると思います。

⑩ 市政の問題は情報発信ではなく「情報公開」

情報発信というのは、“自分が選んだ情報”を出すことです。一方、「情報公開」は“全ての情報”を出すことです。重要なのは情報公開であり、都合の悪い情報も自動的に公開されるという点です。情報公開は、行政においても、議会においても進みが遅いところであり、制度においても意識においても改革が必要です。

<お知らせ>

「市政報告&意見交換会」を行います。
11月4日(日) 葉の花ホール1F集会室

(北条中央公園と図書館の近く)

時間：10:00~11:30頃

入場無料・予約不要なので当日、お気軽にお越し下さい。質疑応答の時間も設けます。市内・市外も政治的立場も関係ありませんので、安房地域の方はどなたでもご参加の程をよろしくお願ひします。

石井としひろ 略歴
昭和47年2月26日生まれ。
館山二中、安房高、立教大学法学部卒業。平成23年4月に館山市議会議員に初当選。



<発行者> 石井敏宏

〒294-0038 館山市上真倉320-2

TEL&FAX: 0470-23-7738

携帯: 090-1557-5515

メール ishiitoshihiro1@gmail.com

ブログ <http://ameblo.jp/ishiitoshihiro/>